

# 乗合タクシーの活用について

# 乗合タクシーの活用について

運行方式	定時定路線型		デマンド型			
			乗降場固定型	自宅↔乗降場型	ドア・ツー・ドア型	
事例	山口県山口市 (コミュニティタクシー)	大阪府河内長野市 (くすまる)	岡山県玉野市 (シータク)	大分県豊後大野市 (あいのりタクシー)	北海道伊達市 (愛のりタクシー)	福岡県八女市 (ふる里タクシー)
主な特徴 (高齢者 関係)	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者は高齢者が多く、<b>高齢者等交通弱者の外出機会の拡大に寄与</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>急な坂道が多く、道が細くて<b>バスが通れない地域において高齢者等の足として活用</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>外出する機会がほとんどない者の割合を減少させることに成功</b></li> <li>65歳以上は割引(半額)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>80歳以上の高齢者</b>は<b>いのりタクシー</b>の導入により、<b>外出機会が増加</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>60歳以上かつ自分でタクシーへの乗り降りができる者が対象</b>(会員制)</li> <li>高齢者の「生活の足の確保」を目的に導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>利用者の9割弱が70歳以上</b></li> <li>交通空白地の解消と住民のQOLの向上を実現(<b>住民アンケートで利用者の80%が「暮らしが便利になった」、38%が「外出機会が増えた」と回答</b>)</li> </ul>
主な特徴 (その他)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区ごと(7地区)に地域が主体となって、ニーズや需要に基づいた運行計画を作成することで、効率的で機動性の高い持続可能な移動手段を実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者、地域住民、市が一体となり、ルート、停留所位置等の選定を共同で実施</li> <li>収支率は約8割(赤字部分は市が補助)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミニバスと乗合タクシーの役割分担の明確化による地域公共交通ネットワークの再構築</li> <li>配車システムの導入によるスピーディーな配車、地域一体での利用促進などにより利用者の定着・増加を実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>路線バス・ミニバスと共に乗合タクシーを用い、広大な面積の市内をシームレスにつなぐ公共交通ネットワークを実現</li> <li>バス停コンテストや運行見直し基準の見える化等により、住民・事業者との協働を促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夫婦で乗車したときに1人分の運賃が半額になる夫婦割引制度</li> <li>タクシーの空き車両を活用し、自立経営を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入に当たっては、福祉バスや患者輸送車といった路線バス以外の交通手段も併せて再編を実施</li> </ul>

# 定時・定路線型の乗合タクシー

## 山口県山口市

- 山口市内の交通不便地域での高齢者等の交通弱者の移動手段を確保するため、地区中心区や基幹交通(鉄道・路線バス)までを運行する定時定路線型の乗合タクシーを導入
- 地区ごと(7地区)に地域が主体となって、ニーズや需要に基づいた運行計画を作成**することで、効率的で機動性の高い持続可能な移動手段を実現

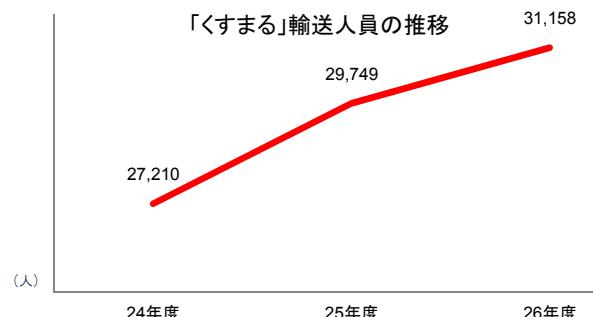
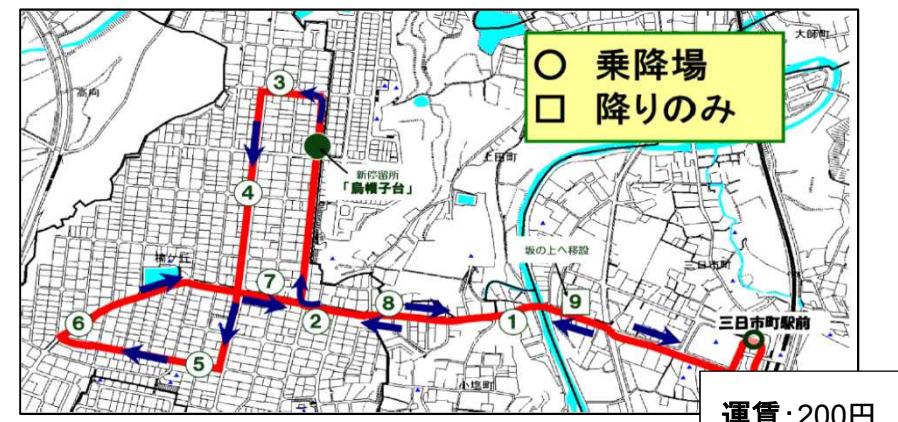


- 利用者は高齢者が多く、**高齢者等交通弱者の外出機会の拡大に寄与**
- 運行費用は、企業の協賛金や住民協賛金を充当するなど地区ごとに工夫



## 大阪府河内長野市

- 急な坂道が多く、道が細くバスが通れない地域(楠ヶ丘地区)において高齢者等の足として定時定路線型の乗合タクシーを導入(同地区と生活に不可欠な買物・通院当の施設が集中する駅前との間を巡回)
- 事業者、地域住民、市が一体となり、ルート、停留所位置等の選定を共同で実施



- 18便/日を1台のジャンボタクシーで運行している
- 輸送人員は増加傾向であり、高い平均乗車率(約4割～5割)を維持
- 収支率は約8割**で、赤字部分は市が補助



# デマンド型の乗合タクシー

## 岡山県玉野市(乗降場固定型)

- ・ミニバス(シーバス)と乗合タクシー(シータク)の役割分担を明確化し、地域公共交通ネットワークの再構築を実施
- ・配車システムの導入、地域一体での利用促進、交通会議での不断の検証などにより利用者の定着・増加を実現

- ・ コミュニティバスと乗合タクシーの乗り継ぎ地点を設置
- ・ ホームページに乗り継ぎ時刻表を掲載



運賃: 200円※65歳以上の方半額

利用方法: 事前電話予約

- ・利用者の定着・増加を実現
- ・外出する機会がほとんどない者の割合を減少させることに成功

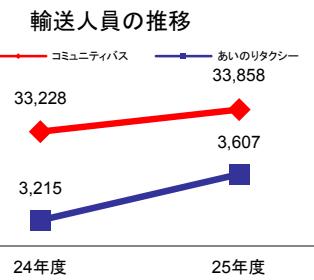
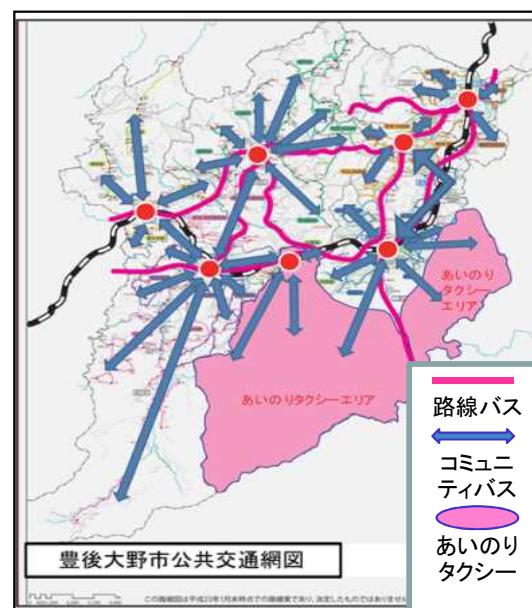
(平成24年度: 11.1%→平成26年度: 9.6%)

- ・シータクの自動配車システムの導入により予約や配車計画作成に要する時間を削減  
(配車計画作成: 20分→5分)



## 大分県豊後大野市(自宅↔乗降場型)

- ・路線バス・ミニバスと共に乗合タクシーを用い、広大な面積の市内をシームレスにつなぐ公共交通ネットワークを実現
- ・バス停コンテストや運行見直し基準の見える化等により、住民・事業者との協働による持続可能な公共交通ネットワークの構築を実現



運賃:  
300円～600円  
(自宅のある地区による)

### 利用方法



- ・ミニバス、乗合タクシーの利用者が増加傾向
- ・80歳以上の高齢者はaiのりタクシーの導入により、外出機会が増加



出発地から目的地まで乗車時間は30分以内となるよう配車  
行き帰りともに事前の電話予約が必要です。  
帰りの予約は行きの車内でも可能です。



## デマンド型(ドア・ツー・ドア型)の乗合タクシー

北海道伊達市

- ・高齢者のモビリティの確保のため、ドア・ツー・ドアのデマンド型乗合タクシーを導入
  - ・60歳以上かつ自分でタクシーへの乗り降りができる者が対象  
(会員制)
  - ・地元のタクシー会社の空き車両(小型タクシー)を主に活用し、地方自治体の財政に極力依存せず、自立経営を目指した運行の改善を実施中



**運賃**:同じ地区内か隣接地区への移動 500円  
(移動が1地区遠くなるごとに500円加算)  
※夫婦で乗車したときに1人分の運賃が半額になる夫婦割引制度有り

利用方法:事前会員登録(有料)・事前電話予約

- ・利用者数は伸びているものの相乗り率が低い等が課題
- ・相乗り率を高め、多くの人が利用できるよう、定時便(自宅↔乗降場型)も導入するなどサービス向上に取組中



福岡県八女市

- ・ドア・ツー・ドアのデマンド型の乗合タクシーの導入により交通空白地域を解消(広域移動を可能とする幹線路線バスとも連携)
  - ・導入に当たっては、患者輸送車、福祉バスといった路線バス以外の交通手段も併せて再編を実施
  - ・合併前の市町村が協議して地域の公共交通連携計画を策定。別々の交通政策を再編統一することで、同じ経費で飛躍的効果を上げることに成功



・利用者の9割弱が70歳以上

- ・市民の暮らしを支える公共交通として定着し、好調な利用状況を維持

- ・平成23年8月の市民アンケートでは、利用者の80%が「暮らしが便利になった」、38%が「外出機会が増えた」と回答

→市民に交通空白解消と生活の質の向上を実感

